

滋賀県丁R湖西線の和邇
駅と蓬萊駅の間に住んで
おりますので万一、天変地

良き役員の方々に支えら
れ、また良き職員たちにサ
ポートされ、守られての十
年間でした。

は苦勞知らずの理事長で
あったと感謝している次第
です。

二〇〇九年(平成二十一年)
から二〇一九年(令和元年)

理事長高橋慶先生から教え
て私は七代目になります。

理事長の任を終えて

前理事長 水上 雄一郎

事業におきましても西陣
総合児童館が出来、館長と
して一九八六年より常務理
事で統括責任者をされた水
谷洋一氏の働きはとても大
きかつたと思います。浅田
将之事務局長、宮崎一弥事

しかし、地球は活動して
いますので何が起こるかわ
かりません、心の準備は常
にしておかなくてはなりま
せん。

異が起きた場合、どのよう
に西陣会の施設に行くこと
ができるかと常に考えてお
りましたが幸いにも何も起
こらず済みました。感謝感
謝です。

務局次長の三人のリーダー
の元で、職員の和で安定し
て事業が大きくなりました。

後任には中山あい児童館
長と土屋健弘きらリンクセ
ンター長が就任されていま

ありますので、その時でしょ
う。ご家庭の上にご多幸を
祈ります。有難うございま
した。

水谷氏は定年退職後も理
事として今日までご指導い
ただきましたが、私と一緒に
に退任されました。ご指導
いただけないのは残念でな
りませんが聖書の言葉の中
に『何事にも時があり』と

喜びでありました。

が御来賓して下さい、祝辞
を賜りましたことは何より
の喜びでありました。

の皆様、ご利用
者の皆様とご家
族の皆様、職員
の皆様、役員
の皆様、お支え
ただいてきまし
た全ての皆様、
お世話になりま

おられますが、
学識と若さで導
いて下さると確
信しております。

ボランテニア
の皆様、ご利用
者の皆様とご家
族の皆様、職員
の皆様、役員
の皆様、お支え

私の後任には南大路文字
氏が理事長に就
任されました。
ボランテニアと
して西陣会に関
わって下さり理
事としてもご指
導して下さい

ホームページでも
ご覧になれます

郵便振替口座
01030-5-23086

発行者:南大路 文将
編集責任:浅田 将之

〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451 - 8971
FAX (075) 451 - 5700

発行所
社会福祉法人
西陣会
HP: <http://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org

第178号

センター
便り

絆

きずな



これからよろしくお願ひします!!

当法人への寄付
金は、課税控除
対象となります
ので、その為の
受領書が必要な
方はお申し出下
さい。

した。どうも有難うござい
ました。

新体制になりました西陣
会を引き続き、お支えよろ
しくお願ひいたします。

多様性を守る砦として

理事長 南大路 文子



このたび、西陣会の理事長をお引き受けすることになりました南大路文子です。どうぞよろしく願いいたします。お話をいただいてから決心がつくまでに、時間がかかりました。西陣会との出会いは月曜集会です。2007年から評議員として、また2011年から理事としてかかわらせていただいたのは、一般社会人の目として西陣会の活動を見守れたらとの思いからでした。「長」となるとさらに大きな責任が伴います。「私のような素人に務まるだろうか」とかなり悩み迷いました。けれども深田未来生先

生、水上雄一郎前理事長に背中を押され、少しでもお役に立てるならと考え、お受けすることにいたしました。

私は大阪青山大学で英語の教師をしています。授業を通して、学生たちに「多言語・多文化の共存」がいかに大切かを伝える努力をしています。世界には四千から七千の言語が存在すると言われていています。もつとはつきりした数字にしばれない理由のひとつとして、すでに消滅した言語、消滅しかけている言語を教えるかどうかで専門家の意見が分かれていることがあります。例えばアイヌ語は存在してはいますが、アイヌ語を主として社会生活が営まれている集落はもはや残念ながらありません。地球上の七〇%の人が主要と言われる約一五の言語を主に使

用し、残り三〇%の人がそれ以外の数千の言語に頼って暮らしているのです。そして近年、グローバル化の名のもとに経済的、政治的に強い国や地域の言語が、他を席卷し駆逐する傾向が強くなっています。いかに多くの言語が、アイヌ語のように風前の灯火状態にあるか想像に難くありません。けれども、ひとつの言語の消滅は、その言語を通して長年にわたって集積された知恵や知識、そして文化が失われることを意味します。そして結果として、地球上のあらゆる面で多様性が損なわれ、不寛容が助長されることになります。

多様性が担保されない社会では、「役に立たない、価値がない、異質だ、面倒だ」と色分けされた個人を排除しようとする圧力が高まります。不寛容で柔軟性を失った社会は、差別と侮蔑が横行し、憎悪と敵意が蔓延する場所となるでしょう。多様性が担保される社会こそ、誰にとつても平和で暮らしやすい場所なのです。

このような時代にあつて、多様な生き方と個人の尊厳

を守る砦として、「福祉」の果たす役割はますます重要になってきています。「隣人を自分のように愛しなさい」と諭されたイエスは自ら、規範からはみだした人々の

隣人となって手を差し伸べられました。西陣会の活動が、手助けを求めている人の隣人としてさらに充実することを目指して、ともに歩めたらと思います。

退任に際して

前理事 水谷 洋一

早いもので退職してまる6年が経ちました。理事としてもたいしてお役に立つことができず心苦しく思っています。退職の時に思ったことは、職員の中でこの人はいい人だな長く仕事を続けてくれるといいなあと思つた人が何人もいた事でした。しかしその後その内の何人かが辞めてしまいました。大変残念なことです。もちろんやむを得ない事情の人もいたでしょう。でも全員そうではないと思います。ではどうしてでしょう。その所をよく考えないといけないと思うのです。

根底に同僚同士互いに、また上司と部下の互いに信頼関係があればそうはならなかつたのではと思うのです。皆さん今一度胸に手を当ててよく考えてほしいのです。

信頼関係をベースにしたお互いを思いやる気持ちがなければ、その組織は崩壊していくでしょう。

もちろん財政も大切です。し事業の検証もしなくてはならない大切なことです。

しかし信頼と思いやりと愛がなければそれは砂上の楼閣です。今ひと時手を休めて考えていただければ幸いです。

新役員体制

西陣会は、多くの方々の精神的、経済的な支えに助けられ、地域福祉に取り組んでまいりました。あらためまして御礼申し上げます。

6月15日の定時評議員会の終結をもって理事監事の任期が満了となり、新たな役員体制となりました。

水上雄一郎前理事長は理事としては約10年、それ以前は監事として法人運営に長くあたたかなご指導ご協力いただきてまいりました。水谷前理事は西陣会の職員として、館長として、常務理事としての多大なご尽力、また退職後も理事としていつも西陣会のことを気にかけていただき心強い存在でした。どうもありがとうございました。

新役員体制となりましたが、皆様、引き続き西陣会の運営に厚いご支援ご協力賜れますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

理事長 南大路文字
大阪青山大学特任教授

常務理事 浅田 将之
京都市民福祉センター館長

理事 武田 廣晴
華頂短期大学教授

★理事 十屋 健弘
きらリンクセンター長

★理事 中山 あい
西陣児童館館長

理事 平田 義
イエス団理事

理事 福井 治学
育成会上京支部支部長

理事 山本 恵
アクティブKBEI
代表取締役

監事 菅 恒敏
評議員選任解任委員、
元児童館館長

監事 村井 喜治
評議員選任解任委員、
元社協事務局長

★は新任

地域生活支援二コース

デイセンターふらっと

作業や活動について

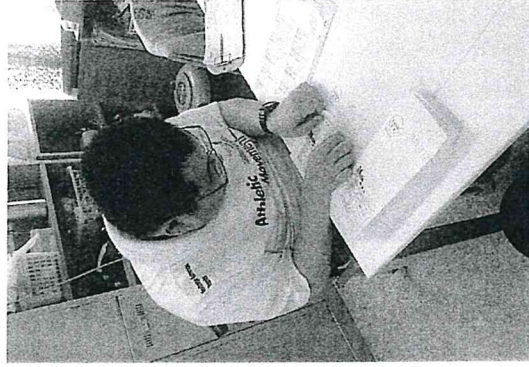
デイセンターふらっとは現在、29名の方が登録されており、一日24〜25名の方が来られております。ほとんどの人が車で送迎を利用されおり、車三台を二往復以上させて送り迎えさせてもらっています。

活動は三つのユニットに分かれており、それぞれ内容に違いがありますが、軽作業として、古くなったおしぼりを二枚合わせて雑巾にする作業や、トイレトペーパー・京都市指定ゴミ袋の販売配達、名刺づくり、コインパーキングの清掃、年に一度ですが、洛北高校同窓会誌の封緘作業・白い小箱(災害時の備蓄品)の箱詰め納品などを行っています。体力維持や肥満解消(どこまで効果が……)を目的としたグラウンドでの運動や、プール活動をしてい

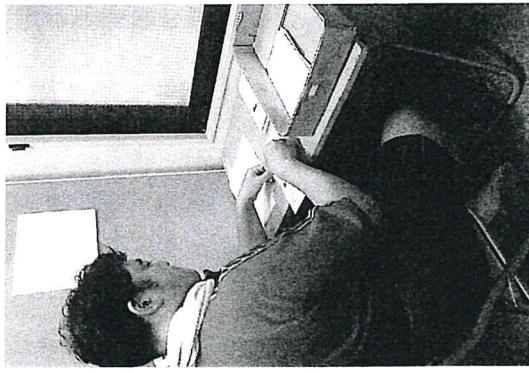
副所長 本林 直人

ます。その他には喫茶活動(近所の喫茶店に少人数でお茶しにしています)買い物・お菓子作りなども行っています。クリーンウオー

ク(地域のごみ拾い)市民しんぶんの仕分け・配達など、地域での活動などを行ってまいります。ユニットによつて日活動内容に違いはありますが、やりがいや楽しみを



夏号も無事に届きますように……♪



センター便り [総] の発送作業中

もってもらえるような活動をしていきたいと考えています。

また月一度の全体行事では、ユニットを超えて全員で楽しめる内容などを行っています。年二回の大型行事で海水浴・旅行に行っており、グループで行うからの良さや強みを活かして日頃見られない姿をみて日々の生活や活動に取り入れられたらと考えております。

何か良い行先や活動などありましたら教えて下さい。

西陣会居宅サービス係

ネイバーフッドきたまちが始まり一年が経って

主任 近 藤 隆 平

昨年の5月に北野天満宮の少し北の位置にネイバーフッドきたまちが開設され一年が経ちました。西陣会では居住の場として、西陣会ホームとなり、小松原の家(シェアハウス)、西陣会ホームきたまち、ネイバーフッドきたまちと4拠点になりましたが、ネイバーフッドきたまちはワンルームマンションでの1人暮らしでありながら、宿直者による夜間見守り対応があつたり、GHきたまちと連携しながら支援を行っていたりとても安心な生活を提供できる場所になっています。居宅サービス係の中ではサービス付き高齢者住宅ならぬ、サービス付き障がい者住宅と呼んでいたりします。ネイバーフッドきたまちが始まる前にも1人暮らしの方に関わらせて頂いていることはありましたが、生活の枠組みは出来ておられる中での支援でした。ネイバーフッドきたまちに入居される方の中には、初めて1人暮らしされる方もいて、越しや生活に必要な家具の

調達、ご本人の今までの習慣を取り入れて支援計画を考えたり、週間の生活リズムの検討など、改めてご利用者の生活を考える機会にもなり、どうすれば生活をイメージしてもらえるか、どうすれば不安を取り除けるかを考え関わらせて頂いています。

ネイバーフッドきたまちが始まるまでは自分の中でご利用者が1人暮らしをするということに心配は大きかったのですが、GHから転居された方は驚くほどスムーズに新しい生活に順応されており、ご実家を離れて生活されたご利用者及びご家族の頑張りや、今までGHで関わってくださっていた支援者との経験が大きなプラスの経験としてあるんだなと実感しました。

始まって1年、ご利用者の皆様も生活のイメージは持つて頂けているものと思いますが、まだまだ課題もあります。より安心して、より楽しんで生活していただけるように関わらせて頂けたらと思つています。

地域活動支援センターふらつこと

地域活動支援センターふらつことが30周年を迎えました

所長 宮 崎 一 弥

2019年度、地域活動支援センターふらつこと(以下夜ふら)は発足してから三十年の月日を迎えました。夜ふらは毎週月曜、水曜、金曜の夜に実施している事業で、障がいのある方の余暇支援、本人支援、社会参加を目的に活動を実施しています。

この三十年間、事業の形態は何度か変化しています。設立当初は「障害者自立援助事業ふらつこと」次に2003年の支援費制度と共に始まった「デイサービスふらつと夜の部」そして2006年10月からは現在の名称「地域活動支援センターふらつこと」となっています。

名前や、ご利用者(初期の頃は「メンバー」と言っていたなあ)は少しずつ変われども、そこに集まった皆の笑い声や、色んなことやりたい! というエネル

ギーは今も同じく変わっていません。

誰かに決められた余暇メニューではなく、自分で選

ぶからこそ面白かった、面白くなかったが言えるのだと思えます。親や先生や支援者ではなく、私たちは本人の選択を大切にしながらやってきました。それも、大勢の仲間と相談しながら、時には喜び、時に悩み考えました。当然トラブルもありま



30周年企画第1弾「劇団四季リトルメロイド観てきた!」

す。トラブルは当然少ない方が良いですが、それがあるから、夜ふらは、ますます「人間味」を増します。地域で生きているということは、そんなことの繰り返しかと思つています。家族でもなく職場の同僚でもない「かけがえのない仲間」たちとこれからもまだまだ先駆的な活動として走り続けていきます。

支援センター「きらりリンク」

医療的ケア児等コーディネーター養成研修を受講して

相談員 箕浦 佐知子

医療的ケア児とは、医学の進歩を背景として、新生児集中治療室等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な障害児のこと。

今年1月に京都府主催の研修を受講させていただきました。

この研修の講師として、医療機関や関係施設の先生方はもとより、何名もの親御さんが登壇され、お話をうかがうことができ大変勉強になりました。

乳幼児期から学齢期、成人期へと、保健、医療、福祉、教育等の各分野がからみながら、ひとりのこどもから成人へ、おともだち、ご家族に囲まれて、そのひとつひとつに地域で成長していける様子について、教えていただきました。

グループに分かれての演習では、私が参加した班では6人中4人が医療職種で、なおかつ2人が親御さんでもありました。

親として、医療者として、相談員としての経験談を聞かせていただき、貴重な学びの場でした。

支援者数、利用できる社会資源の数、個々に応じた生活用具を工夫する専門性などなど、望まれる課題は多く、今はまだ、ご家族の負担が大きいです。

そんな中でも、ご本人が地域でお友達に囲まれ、にっこりと笑って楽しく活動されている様子を見ると、この笑顔をもっともっと！という気持ちになります。

第一回研修とのことで、これから回を重ねて多くの相談員が受講するので、私も研鑽を続けたいです。

支援センター「にじじん」

シンポジウム「こころを編む」を開催して

センター長 宇川 征宏

今、思い出しても非常に濃厚で熱い四月十二・十三の二日間だった。半年前に高木俊介さん(たかぎクリニック)に沖縄のあるイベントのことを尋ねたら、「精神領域のこんなメンバーの話はもう聞けへんで。」と言われた。

私自身、精神科領域にガッツリ入り込んで仕事をしてきた訳ではないが、こんなメンバーの書籍は、何度も読み返していた。

こんなメンバーとは、星野弘さん(星野メンタルクリニック)、横田泉さん(オリブ山病院)、滝川一廣さん(あなはクリニック)。

業界の草分け的存在だと勝手に認識はしていた。そんな人たちの話を聞くことが出来ない……のは、悔しいし人生の損失だと思ひ、

「是非やりましょ。京都で。」と高木さんに返答すると、翌朝にはSNSで皆さんとのやり取りが始まり、直ぐに日程等が決まった。京都で行うので、箕島豪智さん(いわくら病院)にももちろん声をかけた。

初日は「事例検討」をバザールカフェにて行った。否定や非難をすることなく、事例を出された方の悩み(苦労)を聞き、事例とされている方々の辛さに向き合い、参加者全員が今出来ることを確認した。

二日目は、130名の方が「同志社大学」に集まってくれた。シンポジウムで、星野さんからは、「患者と医者との関係と思わず、同等に話す。」と、横田さんからは、「信用してもらうためには、その方が納得いくまで、

誠実に対応をしていく。」と、滝川さんからは、「自分を信じてもらおうとは思っていない。それこそおこがましい。その人を信じる。社会を信じる。」と、箕島さんからは、「イタリアに初めて行った頃はほとんど仲間がいなかった。

普段は寂しいと思うことも多いけれど、今会場を見渡すと、たくさんの仲間がいることに気づいて、とても嬉しい。勇気づけられ安心した。」と教えて頂いた。

難しいことや複雑なことをするのではなく、まずは目の前におられるお一人お一人に向き合い、焦らずに時間を共有してく以外のことはないと改めて感じた。

今回の集まりをしたことに満足をするのではなく、多くの仲間がより生きやすい環境をみなで作っていきたいと思う。

星野さん、横田さん、滝川さん、高木さん、箕島さんありがとうございました。来年また。

路地震ステーションニュース

西陣児童館

「みているよ」と伝えたい

伊藤 諒子

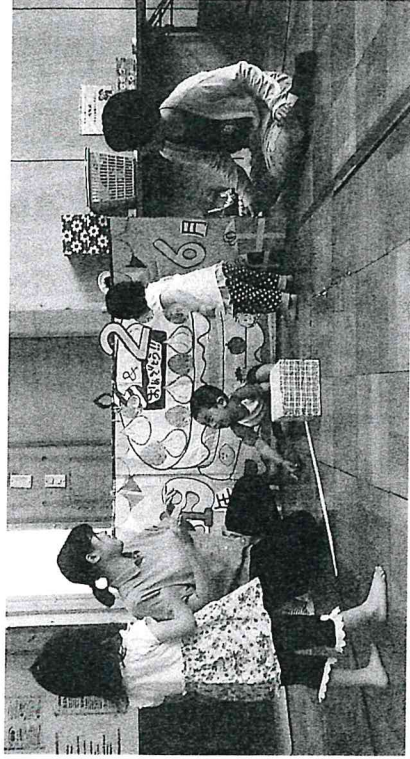
こどものことを見るという事は普通で当たり前のことですが、「ちゃんとあなたのことをみているよ」とメッセージとして意識して発信しよう。児童館の職員として二年目に突入し、そのようなことを日々考えています。

「ねえ、見てて」。今日も子どもたちの声が聞こえます。入職し、学童クラブの子どもたちと過ごすようになり驚いたことのひとつに練習を見ていると上達していく子がいる、ということがあります。

幼児クラブの乳幼児さんがすべり台をすべれたり、積み木を積み上げられたりするとパツと期待を込めて保護者の方を見ます。そして頷いてもらったり、できたねなどの言葉をかけてもらったりして、満足そうに

また遊びに戻っていく。そんな光景をよく見ます。そして児童館でも見られるのです。

けん玉の練習をしていて、なかなかお皿に玉を乗せられなかった小学生の子。成功した瞬間パツと辺りを見回しました。「みたよ。できたね!」と声をかけると嬉しそうにうなずきました。挑戦ははじめます。そして段々上手になっていったのです。そのとき、「見るって一方的な関わりじゃないんだ」と初めて気づきました。こちらが見ているのと同時に子どもたちもそのことを意識していて、どのように相手が受け止めるのかが見ているのではないかと、考えるようになって



ほこあぼこのバースデーパネルの前で

りました。

自分の気持ちを表現するのが苦手な子。こんな風に伝えたら簡単なのに、なんて大人は勝手にやきもきしてしまいますが、そんなの分かっているのもうまいかないんだよね。ケンカしても失敗しても、そこにはどういう気持ちがあったのか、どういう努力をしていたのか。自分だけの孤独な戦いにならないように「みてたよ、がんばったね」と言っておあげられたら、と思います。

京都市障害のある中高生のタイムケア事業「ういず」

めぐる めぐる 季節

副所長 小西 秀和

春すぎて

夏来にけらし

白妙の

衣はすてふ

天の香具山

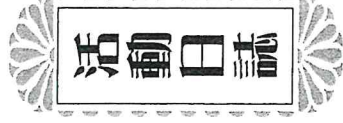
百人一首に選ばれているこの歌に、見覚えがある人はおおいと思う。季節が春から夏へとうつりかわっていることを、山に干された白い衣から感じる、という内容のようだ。

ういずでの季節のうつりかわりは突然やってくる。ダウンジャケットからの半そで、蚊取りマットのセツティング、散歩でひろう落ち葉のいろ、靴下を脱いだときのおい、かき氷のキーンとしたつめたさ、ホットカーペットのうえの人口密度……、天気予報ではなくって、そんないろんなシーンに春夏秋冬を感じる。

また、春夏秋冬をなんでもいっしょに過ごすなかで、まいとし進級で春に調子を崩していたのにご機嫌に過ぎているとか、いつも放課後はつかれて昼寝しているのに体力がついてきて元気にあそんでいるとか、脱いだ上着をじぶんで片づけているとか、食べなかったおやつを食べているとか……、季節がめぐるなかで、一人ひとりの成長に出会えることは、なによりうれしい。

ぐるぐるおなじところをまわっているように真上からは見えるけど、らせん階段をゆつくりのぼっていくようなめぐりゆく季節のうつりかわりもある。

世間がきめた季節もあるけど、ういずのなかでめぐるめぐる季節をたのしみながら過ごせたらと思う。



【本部業務・公益事業】

- 4月 7日 桜まつり
- 8日 月曜集会
- 16日 京都信用金庫 新築プレオープン イベント
- 21日 西陣千本100円商店街
- 西陣マルシェ
- 22日 キャリアパス&人材 育成計画推進委員会 月曜集会 産業医面談相談会 安全衛生委員会
- 5月 7日 桜まつり実行委員会反省会
- 8日 総務委員会
- 10日 法人監事監査 (菅監事・村井監事)
- 12日 福祉就職フェア
- 13日 月曜集会
- 19日 消防団総合査閲
- 20日 キャリアパス&人材 育成計画推進委員会
- 22日 西陣会ふらサイズジョン総会
- 社会福祉法人役員等 研修会・指導監査等 説明会
- 23日 新人職員座談会
- 25日 理事会
- 西陣会職員交流歓迎会
- 27日 産業医面談相談会 安全衛生委員会

- 月曜集会
- 30日 相談係座談会
- 31日 上京区社協理事会

- 6月 7日 OJT 担当職員座談会
- 10日 月曜集会

- 15日 定時評議員会 理事会
- 役員職員食卓会 (がんこ高瀬川二菜苑)
- 17日 産業医面談相談会 安全衛生委員会
- 24日 キャリアパス&人材 育成計画推進委員会 月曜集会

【西陣児童館】

- 4月 8日 学童クラブ入部式
- 16日 1歳児以上さんの「ぼこあはこ」発表式
- 17日 0歳児さんの「パレイド」スタート

- 5月 25日 第一アロック児童館学童保育所まつり

- 31日 ドリームチルドレン 上京わんぱく広場 (中山・野崎)

- 6月 1日 出前児童館 (シャボン玉と工作)
- 14日 同志社女子高との花の日交流
- 19日 乾隆小学校運営協議会 (中山)

- 28日 民間ネットワーク総会・研修会・情報交換会 (中山)

【居宅サービス係】

- 4月 9日 サービス提供責任者会議
- 14日 居宅職員会議
- 15日 居宅介護等事業連絡協議会定例会

- 5月 8日 上京ねっと
- 10日 サービス提供責任者会議

- 12日 居宅職員会議
- 21日 上京区障害児者生活支援連絡会
- 27日 居宅介護等事業連絡協議会総会
- 28日 サービス提供責任者会議

- 6月 9日 居宅職員提供責任者会議
- 11日 サービス提供責任者会議
- 28日 サービス提供責任者会議

【ライオンセンターから】

- 4月 23日 全体行事：映画会

- 5月 10日 自閉症e サービス講座受講全4日 (5名受講)

- 27日 家族会役員会
- 30日 全体行事：音楽活動
- 31日 京都市集団指導 (1名参加) 食中毒・感染予防対策講習 (1名受講)

- 6月 18日 避難・消火訓練
- 22日 職員全体会議
- 25日 全体行事：お菓子作り

【きらりんく】

- 4月 5日 北部自立支援協議会運営会議
- 24日 基幹支援センター会議
- 25日 京都市生活安全施策審議会 障害支援区分審査会

- 5月 13日 北区こころのキャンパス ネットワーク実務者会議

- 21日 左京こころのふれあいネットワークワーキング会議
- 25日 京都発達精神医療ネットワーク研修会
- 31日 京都市集団指導

- 6月 8日 北部自立支援協議会支援センター部会
- 14日 相談支援スキルアップ研修

- 19日 北区こころのキャンパス ネットワーク総会
- 20日 北部自立支援協議会 全体会議

【にしじん】

- 4月 4日 中部自立支援協議会事務局 局会議
- 11日 機能集約合議体
- 12日、13日 こころを編むフォーラム
- 18日 相談員カフェ
- 19日 中京権利擁護ネットワーク
- 24日 基幹支援センター会議

- 5月 14日 京都市児童専門部会 中部医療的ケア専門部会
- 16日 中部自立支援協議会 運営会議
- 30日 集団指導

- 6月 5日 介護職員初任者研修 講師派遣
- 14日 相談支援専門員スキルアップ研修
- 上京ねっと総会
- 20日 虐待研修
- 26日 下京子ども家庭支援ネットワーク

※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

センター往来

- ◎ 4月21日(日)『西陣の朝市マルシェ』に出店させていただきました。
- ◎ 4月21日(日)メガ千本100円商店街へ出店させていただきアクセサリーを販売いたしました。
- ◎ 5月19日(日)京都御所にて上京消防団総合査閲が行われ、嘉楽分団の一員として5名の職員が参加しました。
- ◎ 5月22日(水)小松原の家のご利用者宮川和也さん

お知らせ

「京都市放課後等デイサービス支援事業」が7月より始まります。受託三法人の中に、西陣会も含まれることになりました。委託業務内容は、

- ①訪問事業
- ②研修事業
- ③連絡会議の開催となっています。

管理者中山あい、担当職員小西秀和で行います。

- ◎ 6月15日(土)理事会が開催され、南大路文子理事が新理事長に選任されました。
- ◎ 6月15日(土)がんど高瀬川二条苑にて新旧役員、評議員及び法人関係者の皆様と職員の食事があり、小松原の家の設備資金として30万円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。
- ◎ 5月25日(土)理事会が開催され、2018年度決算報告について承認されました。
- ◎ 6月14日(金)福島県内の四事業所の方々が、法人事業所の見学に来られました。
- ◎ 6月14日(金)同志社女子高校の生徒さんが恒例の花の日訪問で来られました。デイセンターふらつとのユニット1と児童館へ花束を届けてくださり、子どもたちとの交流も楽しんでくださいました。
- ◎ 6月15日(土)定時評議員会が開催され、2018年度決算報告、改選による理事・監事の選任について承認されました。

退職

デイセンターふらつと
中西 智也(5月31日付)

入職

タイムケア事業ついで
松本 優(4月1日)
デイセンターふらつと
山本 修二(4月1日)
井上 琴美(4月1日)
居宅サービス係
岡野 花菜(6月1日)

職員人事(常勤職員)



ただ今、消火訓練中

り、有意義な感謝の機会となりました。

◎ 6月18日(火)上京消防署北野消防出張所のご協力のもと、デイセンターふらつとの避難訓練を行いました。合わせて、訓練用消火器を使用する消火訓練も行いました。



あわわしやぼん玉



遊戯室の中2階 狭いのが楽しいのヨロ

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075)451-5700 返ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

- ◎ 法人本部
- ◎ 京都市民福祉センター
- ◎ 地域活動支援センター ぶらつと
- ◎ 地域生活支援事業 レスパイトサービス
TEL (075) 451-1971
FAX (075) 451-1570
- ◎ 西陣児童館
- ◎ 京都市障害のある中高生のタイムケア事業 ついで
TEL (075) 451-1971
FAX (075) 451-1570
- ◎ 西陣会居宅サービス係 相談支援事業所 きずな
TEL (075) 427-3410
FAX (075) 421-1591
- ◎ デイセンターふらつと
TEL (075) 427-3411
FAX (075) 421-1591
- ◎ 西陣会ホームとなり ショートステイ ゆう
TEL (075) 461-3061
FAX (075) 421-1591
- ◎ 西陣会ホーム きだまち
TEL (075) 461-1355
FAX (075) 461-1356
- ◎ 京都市中部障害者地域生活支援センター にじん
TEL (075) 427-1610
FAX (075) 451-1361
- ◎ 京都市北部障害者地域生活支援センター きらりんく
TEL (075) 751-1019
FAX (075) 751-1019